

つとむ まなぶ むすぶ



よろこび

2016年3月号 (No.8)

CONTENTS

- 2 「公民館の名称の統一について」意見を提出
- 2 施設紹介・ようこそ！まなびの杜
「インフォメーションルーム」
- 3 しみせん 市民センのひろば ほか
- 3 地域レポート・まちづくり探検隊
三笠地区まちづくり委員会「たまり場事業」
- 4 INTERVIEW ROOM・きらり★まちづくり
「NPO法人かしま歴標・大川 修一さん」



アルモニア混声合唱団



地域間交流事業
「ウィンターチャレンジ」



うたごえ喫茶バンビ



鹿嶋漢語角



マブパール



かしま灘楽習塾
「初めの一步☆パソコン講座」



かしま灘楽習塾
「琴・三味線」



かしま灘楽習塾
「やさしいエアロビクス」



かしま灘楽習塾
「たのしいハワイアンキルト」



第13回
鹿嶋市まちづくり市民大会



かしま灘楽習塾
「たのしいハワイアンキルト」



地域間交流事業
「ウィンターチャレンジ」

『公民館の名称の統一について』 意見書を提出

まちづくり市民センター懇話会（前田洋一会長）が、まちづくり市民センター長から求められた「市民に分かりにくいとされる、まちづくりセンターと公民館の名称の統一問題への対応」についての意見を取りまとめ、1月15日、大沢英樹同センター長に提出しました。

市民協働のまちづくりを推進する拠点とするために、平成16年度から「公民館」に協働のまちづくりの象徴的な「まちづくりセンター」の名称を併称してきましたが、統一した方がいいのではとの意見があることから、対応方についての意見を求めたものです。

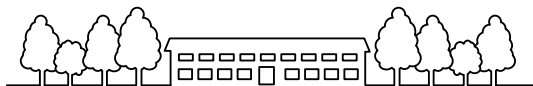
提言は、「引き続きまちづくりセンターとすべきである」とし、市民活動をダイレクトなまちづくり活動に活かすとした当時の社会情勢の変化等の背景は今日さらに深刻さを増していること、生涯学習にとどまらない活動領域を住民主体で構築してきた認識が地区まちづくり委員会などに強固にあること、学校教育と社会教育の連携強化という新たな課題に対しても「まちづくりセンター」の名称での対処が可能であることなどを理由に挙げています。

提言は、教育委員会が今後名称問題を整理するうえで参考とされ、大沢センター長は「提言の趣旨を十分踏まえ整理が進められると思う」と前田会長に労をねぎらいました。



▲大沢センター長に意見書を提出する前田会長(写真右)

～まちづくり市民センターの館内をシリーズで紹介～



ようこそ! まなびの杜

(vol.5)

「インフォメーション ルーム」



インフォメーションルーム(自習室)は、開館時間内(9:00～21:00)であれば時間の制限なく、どなたでも利用できます。(満席時は入室をお待ちいただくことがあります)

利用の際は事務室窓口で利用申請書に住所・氏名の記入をお願いします。利用者は小学生から高校生、一般の方まで幅広い年齢層にわたります。近隣の中学・高校のテスト期間前から終了までは、通常より混雑しますが、平日の午前中は空席が多く、比較的静かな環境の中で学習することができます。

室内での食事は禁止ですのでふれあいサロンをご利用ください。その他いくつかの禁止事項がありますので、利用整理カードで確認してください。皆さんが自習室を快適に利用できるように、ルールを守っていただくようお願いしています。



<インフォメーションルーム データファイル>

- 【場所】 A棟1階
- 【面積】 184㎡ 【収容人数】 47人
- 【備品】 学習机39席+8席(4人用テーブル×2)
インターネット閲覧用パソコン1台
(閲覧以外の作業はできません)
- 【利用料金】 無料

利用しています!!
市民センの **ひろば**



ベーシックダンス
広田 和美さん(和)

半年前より
社交ダンスの
練習に市民セ
ンターを利用
させていただ
いています。



福寿草
中原 登志喜さん
(荒野台)

『見ておもしろい、演じて楽しい』を発掘するため、月1回、市民センターで練習しています。今は「ひよっとこ踊り」と「スコップ三味線」を特訓中。見学は大歓迎です。

市民センターは、幅広い年代の方々との出会いの場であり、刺激を受ける学びの場です。これからどんな出会いがあるか楽しみです。



鹿嶋市文化協会
事務局(手芸連盟)
網中 涼子さん
(下埜)

地域レポート



まちづくり
探検隊
(vol.8)



▲完成したお弁当を手にする子どもたち

三笠地区まちづくり委員会
たまり場事業「お弁当作り教室」

三笠地区まちづくり委員会(委員長=大熊利春さん)のたまり場専門部では、地域の子供と大人が交流を深める“居場所づくり”を目指し、「たまり場事業」を実施しています。

休日子ども教室の一環でもあるこの事業は、まちづくり委員会の年度初めの事業として毎年5月に開催する「スタート祭」への参加から始まり、フラワーアレンジメントや物作り教室、もちつき大会、ケーキ作り、よさこいなどさまざまな体験ができる事業となっています。

1月の事業は、お弁当作り教室です。まちづくり委員の協力のもと、三笠まちづくりセンターの調理室で11人の児童が手作りハンバーグやナポリタン、ゆで卵の飾り切りなどに挑戦し、見事な彩り弁当が完成しました。



▲ウィナーはたこさんに



▲野菜を押さえる手は丸めてみよう



▲自分のお弁当箱に詰めていきます



TOPICS
市民センターの話題

「うたごえ喫茶バンビ」



まちづくり市民センターのふれあいサロンで1月24日、「第23回うたごえ喫茶バンビ」が開催されました。主催団体は、“鹿嶋を歌で元気に!”をモットーに活動する「童謡唱歌を楽しく歌う会」(代表=高柳恵三さん)で、日本伝統の唱歌を世代を超えて地域に継承しようと、まちづくり市民センターや地区まちづくりセンター等で活動している合唱サークルです。

ふれあいサロンを埋め尽くした約130人の参加者らは、なじみの童謡唱歌・歌謡曲・ポピュラーソング30曲を楽しく合唱し、会場は大いに盛り上がりました。



きらり★まちづくり (vol.8)

れきしるべ
NPO法人かしま歴標 理事長大川 修 一 さん
(宮中)▲「門前三の市」で運営スタッフと打合せ(写真右)
(鹿島神宮門前・大町通りにある「ト伝にぎわい広場」にて)毎月第3土曜に
「門前三の市」を開催

鹿島神宮門前の大町通りにあるミニ博物館ココシカでは、鹿嶋のお祭りや歴史を、資料や模型、地図などで展示し紹介しています。NPO法人かしま歴標は、市からの委託を受け、この施設の管理運営や門前町のにぎわいづくり事業を行っています。

にぎわいづくりとして考えたのが、ココシカの向かいにある「ト伝にぎわい広場」を活用した「門前三の市」。三の市の由来は、「手作り品市」「野菜市」「音楽ライブ」の3つの柱を、参道で、第3土曜日に開催という内容からです。

開催日に合わせて収穫する野菜が新鮮で安いと口コミで広がり、徐々に定着してきました。かごを持って買いに来る人もいます。ライブにはフォークソングや下座連、よさこいなどいろいろなジャンルの団体が出演しますが、ライブが始まると通り



▲手作り品市の様子

▲音楽ライブ
【出演：颯流(ソウル)】

▲ココシカの第一展示室で開催中のひな人形展(3/30まで)

ここしかない展示で“鹿嶋”を紹介

ミニ博物館ココシカ

を歩く人も自然と立ち止まるのでイベントにも活気が出てきますね。市内には創作活動をしている人がたくさんいるので、作品を出品する場として気軽に活用してもらえたら良いなと思っています。

小学生を対象に
休日子ども教室と土曜塾

ココシカの運営に関連して、2階の研修室で小学生を対象に「休日子ども教室」を開催していますが、並行して昨年5月に新たにスタートしたのが「土曜塾」です。休日子ども教室が回ごとに参加者を募集するのに対し、土曜塾は年度初めに申し込んだ子どもたちが一年をとおしてさまざまな体験を行います。今年一年やってみて、いろいろな体験ができるのも良いのですが、来年はテーマを絞り何か身に付くようなものにしたと思っています。今考えているのは絵画で、基本的なデッサンやイ

ラストを中心に、継続して学べる形にできないかを検討しています。

次を期待させる
展示を目指して

鹿嶋には素晴らしい歴史や文化財がたくさんあります。ココシカではそれらを館内の3つの展示室で表現しています。最近少しずつ通りを歩く人が増えてきていますが、ココシカは食べ物やお土産を販売するお店ではないですし、来館者数に関して言えばまだまだです。ここに目的を持って来てもらうには、どうしたら良いか。まずは来てもらうしくみを作ること。それから来た人に分かりやすく展示すること。そして、次は何の展示だろうと期待させること。この3つが課題ですね。多くの皆さんにココシカに足を運んでもらい、もう一回来たいな、来て良かったなと思えるような展示を目指しています。

◀2月の門前三の市から。
鹿嶋市商工会女性部が焼きはまぐりを販売

<PROFILE>

■おおかわ・しゅういち

NPO法人かしま歴標(れきしるべ)理事長。ミニ博物館ココシカの運営に携わるかたわら創作活動も。趣味は、映画鑑賞、剪定、写真、紙細工、皮細工等々、今は神話。宮中在住。61歳。